

天台佛青連



発行元／天台仏教青年連盟
編集／布教広報委員会
発行所／〒224-0033 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎東3-12-1 正覺寺内
印刷所／〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目2-7 福島カラー印刷株式会社
郵便振替／天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字／第258世天台座主
大樹 孝啓 猊下

令和7年
2月28日
発行

index

代表 挨拶	1
天台宗宗務総長 御挨拶	2
延暦寺執行 御挨拶	2
天台仏教青年連盟全国大会茨城結集	3
連盟オンライン研修会レポート	
第1回連盟オンライン研修会	4
第2回連盟オンライン研修会	4
仏青活動紹介	
各教区仏青の活動紹介	5
《特集》	
能登半島地震復興ボランティア活動	6~7
第20回沖繩戦争殉難者慰霊行脚	8
比叡山宗教サミット37周年 「世界平和祈りの集い」	8
第59回天台青少年比叡山の集い	9
インフォメーション	9
協賛金協力者御芳名	10~11
常任委員会委員長報告	12

新しい力
天台仏教青年連盟
代表 杉谷 義恭 (東京)

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。平素より一宗をはじめ延暦寺一山および全国の天台宗寺院、並びに各教区仏青会員の皆様には、私ども仏教青年連盟の活動に對しまして格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和五年四月に角本前代表より引き続きスタートした新体制



も、早いもので二年間が過ぎ去りようとしています。本年度の事業は、連盟全国大会・茨城結集や能登半島地震一周忌慰霊法要、第二十回沖繩戦争殉難者慰霊行脚並びに記念法要などを執り行い、その他にオンライン研修会、婚活イベントを企画・実施しました。昨年正月元旦に起きた能登半島地震のボランティア支援活動を始め、一周忌物故者慰霊法要を北陸教区様と合同で執り行うことができ、多数の会員にご参加ご支援をいただきまして改めて感謝申し上げます。また北陸仏青様には準備などご尽力賜り、ありがとうございます。茨城で開催された結集では、茨城仏青様のご尽力で、多数の会員が集まり、より良い結集を開催することが出来ました。しかし、

少子化のため会員数も減っており、結集を開催する難しい局面を迎えている教区仏青も少なくありません。そんな中で、近隣仏青と協力して行事を開催したり、交流したりして活動の幅を広げている教区仏青があります。会員数が減っている中で、創意工夫をしてお互いに協力をしていく、それが人と人の繋がりにも発展して良い深い縁となることで、仏青活動にも良い影響が生まれることを期待しております。自分たちの取り巻く環境が激しく変化している現代ですが、青年僧だから出来ることの創意工夫をもって、今後とも連盟の更なる発展のため精進して参りますので、変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公式ホームページ

(新HP) <https://www.tendai-bussei.com/>
(旧HP) <https://www.t-y-b-a.com/>

天台仏教青年連盟

検索



連盟では公式ホームページや各SNSの運営を行なっています。ホームページでは、連盟主催行事や過去の記事、毎年発行される会報誌『天台佛青連』の最新号やバックナンバーを閲覧いただけます。また、SNSではFacebook・instagramの情報発信も始めましたので、併せてご利用ください。



情報通信委員会



連盟主催ボランティア (北陸教区翠雲寺にて)



御挨拶

天台宗宗務総長
細野 舜海

天台仏教青年連盟会員の皆様方には、健やかに令和七年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素より天台宗の諸行事へのご協力と多方面に亘るご活動に対しまして御礼申し上げます。

昨年十一月十七日付けで天台座主陛下より宗務総長を拜命いたしました。宗祖大師のみ教えのもと、誠心誠意、宗務運営に務める所存です。わたしは平成十八年に宗議会議員に初当選以来、五期十八年にわたり宗政に携わってまいりました。その間、歴代内局におかれましては、祖山護持、愛宗護法の念から宗務行政に取り組まれ、その根底には宗祖大師が目指された法華一乗の社会、すなわち仏国土の実現にあります。歴代内局が推進されてきた「人材の育成」「教えの普及」「寺院の存続」の三本柱を継承し「祈り」「求道心」「人づくり」を加えて宗務に邁進する所存です。

近年、能登半島地震をはじめとする大地震が多発しており、国内外においても様々な自然災害が頻発しております。そのなかで、いち早く支援活動を展開され

ておられる天台仏教青年連盟はじめ全国の仏青会員の皆さまに敬意を表します。まさに宗祖大師の「忘已利他」「一隅を照らす」の教えを体現されておられます。天台宗といたしましても皆さまが円滑に活動出来ますよう、出来る限りの支援を継続させていただきます所存です。

また世界情勢においても、戦争や紛争、感染症の流行による政治や経済の混乱、国家間の対立に伴う覇権的な国威行動が新たな分断を招いているように思えます。困難な苦しみの中におられ、不安な日々を過ごされている多くの人々に寄り添い、共に祈り不安を和らげることが、われわれ宗教者の責務でもあるでしょう。戦後八十年を迎え、改めて平和世界の実現に向けた誓いを新たにしたいものです。みなさんが祈り、被災地で行動する姿は人々を勇気づけておられると存じます。次世代を担う皆さま方若い力と行動力に期待しております。今後とも天台宗の発展により一層のご助力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



御挨拶

延暦寺執行
獅子王 圓明

令和七年乙巳歳を迎え、本年が天台仏教青年連盟会員の皆様にとって一層のご活躍の年でありますことを、心からお祈り申し上げます。また平素より本山護持へのご高配、ご芳情に対して厚く御礼申し上げます。

また多大なご法助を頂いております。根本中堂保存修理事業につきまして、令和九年十二月の竣工を予定しておりましたが、改修仕様の変更や修理箇所増加などの諸事情により事業期間の大幅な延長や事業費の増額が見込まれております。何卒ご理解をいただき、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を顧みますと元旦の夕刻を襲った能登半島地震に始まり、各地で発生した集中豪雨等による自然災害に遭われた被災者の方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

去る十二月一日に北陸教区と仏青連盟の共同開催で執り行われた「能登半島地震物故者一周忌慰霊法要および復興祈願法要」では五十名に及ぶ僧侶により物故者の慰霊また被災者の身心安穩、被災地の早期復興を祈念申し上げます。

ました。被災者の方々が復興に向けて一歩ずつ前進することを願うばかりです。

昨今の自然災害による被害は我々の想像を大きく超え、一瞬にして日常を奪います。そのような中でボランティア活動による支援は絶望に苦しむ被災者の「光」となったのではないのでしょうか。多くの仏青会員も天台宗防災士協議会また連盟救援委員会のもと被災地を訪れ、数度に亘りボランティア活動を行ったと聞き及んでおります。まさしく伝教大師の「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」の実践であり、若い皆様の実行力と迅速な決断に心より敬意を表します。

最後に延暦寺より発信する今年の言葉「繫紡心」は人を思いやる心と、感謝の心が人と人を繋ぎ、争いのない平和な未来が紡がれることを願ったものです。ロシアのウクライナ侵攻をはじめ世界各国では戦争や紛争が後を絶ちません。そのような社会情勢の中で、次世代を担う仏青会員の活動が未来を照らす「光」となることを切に期待しております。

茨城結集

茨城結集に参加して

九州東仏青 甲斐 晴恵

作る知るあるがままに
〜伝承と創造から真理へ〜

茨城仏青 会長 大林 正俊

去る令和六年十月七日より二日間に渡り、茨城県北茨城市五浦「大観荘」に於いて、天台仏教青年連盟主催、全国大会『茨城結集』を開催させて頂きました。お陰様をもちまして全国より二十教区、百五十余名の仏青会員皆様にご参加を頂きまして改めて御礼申し上げます。

す。また開催に際し、天台宗様をはじめ茨城教区様並びに教区内ご寺院、諸大徳皆様方の格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

初日は宗務総長阿部昌宏師、宗議会議員寺門俊明師ご来臨のもと『作る知るあるがままに〜伝承と創造から真理へ〜』を研修会講演テーマに流通経済大学経済学部教授、彫刻家の中原篤徳先生を講師としてご講演を賜り大変有意義な研修会となりました。二日目は五浦の地に所縁のある近代日本画の発展に大きく貢献した、岡倉天心や横山大観の作品が展示されている『天心記念五浦美術館』に移動研修として皆様にご鑑賞して頂きました。

結集円成までの道のりを思い返すとコロナ禍に実行委員会を立ち上げ、秋田実行委員長



をはじめ委員皆様と結集開催の規模や対応について協議を重ねて参りました。その中、前年度開催教区の信越仏青様、連盟役員の皆様のご助言ご協力を頂きながら無事に円成を迎える事が出来ました。

茨城結集を終えて、改めて全国から仏青会員が集い研鑽を積み、行院や正大、学院、仏青で出会った同朋との再会、また新たに青年会を通じた出会い

を繋ぐ有り難き大会だと存じます。そして根本は伝教大師とのご勝縁の賜であること再確認し、大師の志に報いるために我々青年僧は、日々精進し研鑽に励む結団の大会であると存じます。

最後になりますが、来年開催されます京都結集のご円成と天台仏教青年連盟の皆様のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げます。



令和六年度天台仏教青年連盟全国大会『茨城結集』に参加致しました。

開催地は北茨城市五浦、近代日本美術の発展に大きな功績を残された岡倉天心が晩年過ごされた地ということもあつてか、当日は雨模様でしたが会場から望むその景色すらひとつの作品のようでした。

講義では、中原篤徳先生が自身の人生の三輪である『彫刻・香道・教育』の視点から惜しみなく私たちにお話くださいました。『ままならなさを抱えて生きる』『出会うもの・ことを大事に』『寛容であることを目指す』など、普段あまり余裕なく日々を過ごしている私にとってハッとさせられるお言葉ばかりでした。

翌日訪れた天心記念五浦美術館でも書簡や遺品、数々の作品に触れ貴重な時間となりました。茨城結集実行委員会の皆様、連盟役員の皆様へ心より感謝申し上げます。



連盟オンライン研修会レポート

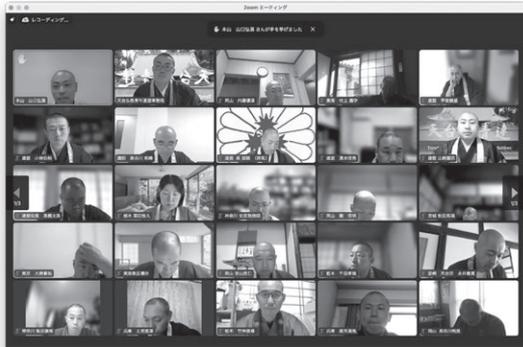
第一回連盟オンライン研修会
教義としての義

今回研修会に参加させていただいた一番の理由は、講師が長谷川裕峰先生だったからです。先生には、私が行院で行った際に助手をお勤めいただきました。そんな縁のあった先生の講義を是非お聴きしたいと思い、参加させていただきました。

私は、叡山学院にも大正大学にも通っておらず、ほとんど何も知らないまま、通過儀礼として法華大会を終えてしまいました。そんな私ですが、先生のまとめでくださった資料と分りやすい説明で、改めて法華大会の内容について勉強することができました。特に、写真を見ながらの説明によって、大会全体の様子が良く分かりました。講義の中で出てきた「義を立てる」という言葉。「義」と聞くとつい、人として守らなければならぬ道理」と捉えてしまいがちですが、法華玄義や広学堅義における「義」が、自宗における教え」という意味であることを学びました。天台宗の僧侶として、やはり法華経はしっかり学びなければならぬと再認識いたしました。

今回教えていただいた知識を持って、次回以降の法華大会に随喜してみたいと思います。ありがとうございました。

合掌



埼玉仏青 櫛笥亮諦

第二回連盟オンライン研修会

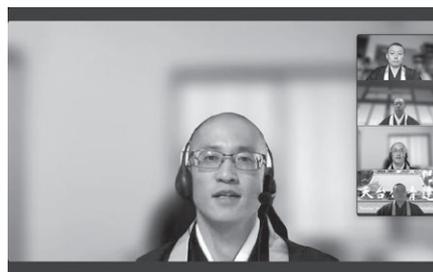
「祭り」と信仰〜黒石寺蘇民祭について〜に参加して

第二回連盟オンライン研修会として令和六年十一月二十五日、陸奥教区黒石寺ご住職藤波大吾師を講師にお迎えし、「祭り」と信仰〜黒石寺蘇民祭について〜と題してご講演をいただきました。

黒石寺蘇民祭の概要について、目的や歴史、準備や当日の流れ、運営体制など、詳細にご説明いただきました。そして、令和六年をもって中止に至った理由や背景、影響を教えてくださいました。

報道等では耳にしていたのですが、当事者の言葉は、重く鮮烈なものでした。住職の葛藤、檀家の苦悩、関係者の事情、共感するものや新鮮に感じられるものなど、大変勉強になりました。この祭りは、黒石寺と檀家とが作り上げてきた信仰の一つの形なのだ、ということを感じさせられました。

「祭り」と信仰、我々僧侶にとって、直接的で普遍的なテーマだと思えます。『信仰とは何だろう、祭りとは何だろう』答えはないのかもしれないが、シンプルに、基本に立ち戻って、考えていきたいと思う研修会となりました。



岡山仏青 長谷川裕展

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製
天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

天台宗専門法衣司
山科大西法衣店

〒607-8357
京都市山科区西野樋川町45-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
0120-568-024

社寺建築設計施工
株式会社 大幸社寺工務店



埼玉営業所 埼玉朝川口市東本郷1-9-4
電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063
本社 東京都足立区勝2-22-4
電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077

各教区仏青の活動紹介

布教広報委員会 副委員長 田中 晃生（埼玉）

天台仏教青年連盟代議委員会は、連盟の目的の一つでもある「仏教青年団体相互の密接なる連絡提携友好を図る」貴重な情報共有の場にもなっております。

今回、その情報共有の場において発表のあった中から、成功例の一つとして神奈川天台仏教青年会の活動をご紹介させていただきます。連盟会報誌では、順次各教区仏青の活動についてもご紹介させていただきますので、教区団体活動のご参考にしていただければ幸いです。

チャリティーフットサル大会

チャリティーフットサル神奈川大会 実行委員長 瀧名 徳洸（神奈川）

関東信越地区の仏青間で行われているチャリティーフットサル大会。本年度は神奈川にて開催をいたしました。約七十名の

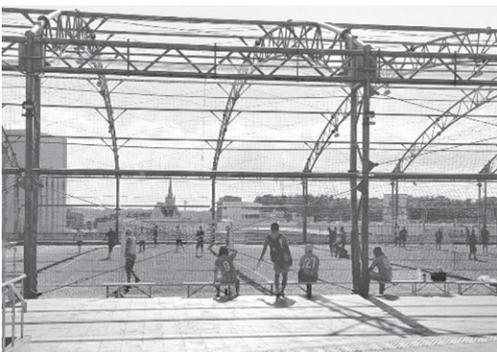


仏青会員にご参加をいただきまして、参加費等を含め総額七十万円をチャリティー募金としてお預かりし、北陸教区災害対策本部・天台仏教青年連盟救援募金へ寄託をさせていただきました。ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

さて、チャリティーフットサル大会は現在恒例行事として行われておりますが、最初に開催されたのは平成二十三年です。当時、東日本大震災が発生し、東北から関東にかけての広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。当会といたしまし



ても被災地に足を運び、直接支援を行いたいと考えておりましたが、神奈川でも地震の被害・影響が出ていたことや、福島第一原発の事故発生により、現地へ向かうことが非常に困難でした。しかし、そのような状況でも何かできることはないかと、



当時の仏青会長 本間孝継師を中心に企画をしたのがチャリティーフットサル大会です。

チャリティーを募り、支援を行うことが第一義的な目的ですが、他仏青との交流の場となる肯定的な側面もあり、仏青同士親睦を深めながら現在まで続いてまいりました。当会としても諸先輩方の本大会企画当時の熱い思いを、末永く繋いでいきたいと考えております。

末筆になりますが、チャリティーフットサル大会を通じて、様々な形で支援の輪が広がっていくこと、そして被災された皆様の生活が一日でも早く平穏に復することを祈念申し上げます。

<p>神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷 ふくさ・進物品・お誂え全般 卸</p> <p>有限会社 ヤマゼン</p> <p>〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3-1-15 ユー・アイビルディング6F TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552</p>	<p>沈香 白檀 各種焼香 本舗 法要・行事等 記念品「香」受け賜ります</p> <p>総本山 延暦寺御用達</p> <p>風間薫芳堂</p> <p>〒607-8454 京都市山科区厨子奥苗代元町21-8 電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760</p>	<p>文化財修復・社寺建築</p> <p>木澤工務店</p> <p>本社 〒606-8414 京都市左京区浄土寺真如町111番地-1 TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430 〒529-1314 営業所 工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地 TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727</p>
--	--	---

興ボランティア活動

慰霊復興祈願法要



群馬 弘直
代議員 林 祐基

甚大な被害をもたらした能登半島地震の発生から十一ヶ月を迎えた十二月一日に、石川県金沢市の金沢メモリアルホールアネックスを会場として能登半島地震物故者一周忌法要ならびに復興祈願法要を厳修いたしました。

法要は北陸教区宗務所長光照良浩師にお導師をお勤めいただき、地震で被災した珠洲市のご住職様方と仏教青年連盟、全国から集まった仏青代表者による合同出仕で常行三昧にて執り行いました。

珠洲市ご寺院の檀信徒様にもご参列をいただき、地震により亡くなった方々のご冥福と被災地の一刻も早い復興をお祈りしました。

また、宗務総長細野舜海師より「被災地に早く日常が戻ってくるよう協力し、一歩一歩復興に向けて進んでいきたい。」とのお言葉を頂戴いたしました。

被災地域の方々の心情はとも

推し量ることはできませんが、地域の復興と心の復興の一助にどうすればなれるかを考え、一僧侶として日々精進して参りたいと思います。



北陸教区ボランティア活動



北陸 弘直
会長 岡田 直寛

元日の地震により、能登半島を中心に広範囲にわたる深刻な被害が発生しました。北陸弘直の副会長が現地を訪れ、避難所や翠雲寺などの被災状況を確認しました。

当時は道路が寸断され、交通制限が実施されており、現地へのアクセスが非常に困難な状況でした。しかし、のと里山街道の片側が開通し、六月十六日(日)には北陸弘直が珠洲市の翠雲寺と薬師寺でボランティア活動を行いました。翠雲寺の仮設祭壇で能登半島地震の犠牲者を偲ぶ法要を行った後、剥がれた壁をハンマーで粉砕し、災害ゴミとして袋詰めしました。薬師寺でも同様に剥がれた壁を集めて袋詰めを行いました。

十月二十日(日)には二回目の活動を実施しましたが、北陸弘直だけでは人数が不足していたため、福井のボランティア団体の協力を得て活動を行いました。家財道具を軽トラックに積み込み、蛸島地区の仮置き場で分別処分を行いました。

活動を通じて、翠雲寺の岩尾権大僧正から「ボランティアとして訪れていただくことで元気をもらえる」とのお言葉をいただきました。少しでも心の支えとなれるよう、今後も活動を続けていきたいと考えています。



令和6年度
特集

能登半島地震復

能登半島地震復興ボランティア活動を通じて



栃木 会長 竹村 俊尋

令和六年一月一日、石川県能登半島珠洲市を震源とする地震が発生し、多大な被害がもたらされました。

第一回五月十三日～十五日、第二回六月二十四日～二十七日、天台宗防災士協議会と天台仏教青年連盟の合同活動に私も参加させて頂きました。

特に印象深かったのは、津波の被害を受けた珠洲市の翠雲寺様でのエピソードです。この集落では住民全員が避難する中、ご住職様一人残り、地域を守り続けていました。ご住職様は家族と離れ離れの生活を送り、ストレスや疲労と戦いながらも、「若者達の姿に励まされた」と、一緒に作業をしてくださいました。最後の挨拶では、「若い力の結束力に驚かされた。私も負けない」と話され、復興への強い決意を示されました。

この活動を通じて、多くの学びと新しい出会いがありました。復興が終わるまで可能な限り活動に参加させていたいただきたいと思います。

一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます



能登半島地震への 救援委員会の取り組み



救援委員会

委員長 中里 正敬(北総)

震災直後に救援募金を呼びかけ、天台宗・社会部と防災士協議会、連盟・救援委員会の三者会議、また宗の現地へのお見舞い・視察に帯同させていただき北陸教区の皆様と被害状況の確認と支援方針について協議いたしました。

数度の視察を経て委員会での協議を重ね、珠洲市での救援ボランティアを防災士協議会と共同で二回、連盟主催で一回行いましたが、九月の大震災により交通インフラの状況が再び悪化、年内に計画した救援ボランティアも降雪により断念いたしました。



第二十回沖繩戦争殉難者慰霊行脚

兵庫仏青 雲井 伸善

令和六年四月十六日から十七日にかけて、沖繩戦争殉難者慰霊行脚並慰霊法要に、慰霊行脚委員会委員長秋吉文隆師、天台宗宗務総長阿部昌宏師、参務一隅を照らす総本部長竹内純照師、比叡山回峰行者大行満光永覚道師、大行満藤波源信師、大行満光永圓道師、諸先輩御住職、仏教青年会、有志の皆様と共に、第二十回という大きな節目を迎えるにあたり、大勢の参加者の中、兵庫仏教青年会として参加させていただきました。

四月十六日の十七時より沖繩念法寺様において、秋吉文隆導師のもと、沖繩戦争殉難者回向法要を厳修した後、念法寺住職様のご厚意により、阿弥陀様の御前にて珍しいインドの楽器の演奏と舞の奉納や、沖繩伝統の唄と三線に舞踊、沖繩民謡など、楽しく拝見拝聴させていただきました。

翌日、十七日晴天の空の下、早朝より護国神社にて読経、献花、散華し、白梅の塔より光永圓道大阿闍梨の先達により約十



キロの行程を行脚させていただきました。その道中で、栄里之塔、米第十軍司令官バックナー中将の慰霊碑、ひめゆりの塔、沖繩師範健児の塔、摩文仁の丘を登り切ると黎明の塔があり、平和祈念公園を進み終着地の沖繩平和祈念堂にて、千羽鶴の奉納、光明供九條錫杖法要、阿弥陀経の間に散華させて頂きました。最後に阿部宗務総長様より、心温まる、あたたかいお言葉をいただきました。無事に行脚が終わり、また初めての参加でしたが、道案内から休憩場所、バスや食事の手配までお世話いただいた事務局様のおかげで安全、安心に慰霊行脚出来ました。

この度は沖繩の激戦地のほんの一部を行脚しただけで戦争の悲惨さを身近に感じました。しかし、今もどこかで戦争をしているのが現実です。行脚をとおして戦争殉難者への慰霊と、平和の大切さを学び、これからも一隅を照らす精神で励みたいと思います。

比叡山宗教サミット三十七周年「世界平和祈りの集い」

滋賀仏青 勝山 圓海

比叡山宗教サミット三十七周年「世界平和祈りの集い」が、令和六年八月四日(日)比叡山延暦寺に於いて、「平和の式典」(於延暦寺会館)と「平和の祈り」(於一隅を照らす会館前)祈りの広場)の二部構成で開催されました。

「平和の式典」では、ベシヤワール会PMS支援室室長・PMS総院長補佐 藤田千代子氏を講師に迎え、「平和の力を信じ」中村先生の意思を継いで」と題した講演が行われました。中村哲先生は、アフガニスタンの復興支援に尽力されていましたが、二〇一九年シヤラバードで武装集団の銃撃により亡くなられました。藤田氏は、長年にわたり中村先生と活動をともにされ、その体験を当時の写真とともに熱意をもって語っていただきました。

宗祖伝教大師の「一隅を照らす」「忘己利他」の御言葉の精神を、戦時下のアフガニスタンにおいてさえも体現なさってこられたお話は大変興味深く、



また非常に感銘を受けるものでした。

引き続き行われた、「平和の祈り」では、比叡山メッセージ朗読のあと、諸宗教の代表者が特設のステージに上がり、天台仏教青年連盟杉谷義恭代表が打ち鳴らす平和の鐘の音が響く中、参加者一同とともに世界平和を祈り黙祷を捧げました。そして、主催者代表として大樹孝啓座主陛下がご挨拶され、世界仏教徒連盟、パロップ・タイアリー会長並びにローマ教皇庁諸宗教対話省ミゲル・アンヘル・アユソ・ギクソット長官から寄せられた平和のメッセージが披露され、式典が締めくくられました。

世界の諸宗教の代表者が一堂に帰し、世界平和のために真摯に祈りを捧げるこの式典が、日本仏教の母山である比叡山において、今後も末永く開かれていく。その一助となる天台僧となれるよう日々の精進を怠ってはならないと、思いを新たにす非常に有意義な機会でした。

空風火水地

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでいます。

荳蔻品目 卒塔婆 角塔婆 縁木塔婆 プマ札 各種特すあり



塔婆製造販売
(株)協和木工所
東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL. 0425-97-0732
FAX. 0425-97-1816

お香 みつり苑

☎ 520 - 0524
滋賀県大津市和邇今宿 384 - 3
電話 077 - 594 - 1845
FAX 077 - 594 - 2151

天台宗務庁御特命 三諦章袈裟専織所

山寺戸達
本務所用
総延宗御

森忠法衣店

五代目 森 忠兵衛
〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

第五十九回 天台青少年比叡山の集い 六十回という節目を迎えるにあたり…

実行委員長 田中晃生(埼玉)

本年の天台青少年比叡山の集いは、毎年宿坊として利用させていただいている延暦寺会館の改装工事に伴い、琵琶湖グランドホテルを利用しての開催となりました。慣れない会場ということもあり戸惑う事も多々ありましたが、参加した研修生からは「来年も必ず参加します」、「次回は友達を沢山呼んできます」といった声を多く耳にすることができ安堵いたしました。

我々、実行委員会といたしましては、本年の経験を良い機会と捉え、今後の開催に向けて研修のテーマや行程についても改



めて検討し、これまで以上に社会部の皆様や延暦寺の方々とも協議を重ねてまいります。

最後になりましたが、この集いも次回で六十回という節目を迎えます。諸先輩方が築いてこられた良き伝統と情熱を受け継ぎつつ、コロナ禍を経て急速に進んだ社会や人々の心の変化にも柔軟に対応していきたいと考えております。この記念すべき年に、我々と共に研修生の指導・サポートを担当するリーダーとして参加してみませんか？生涯の仲間と一生の想い出を共に作らしましょう。

●インフォメーション

令和6年度 天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

- 令和6年能登半島地震支援金 ……1,302,734円
※令和5年度も含めた支援金総額は、3,469,471円となり、
全額を石川県並びに北陸教区様に寄付いたしました。
- 連盟救援基金 ……534,709円
- 合計 ……1,837,443円

【令和6年度 連盟支援団体】

連盟救援基金より下記の4団体に支援金を送付いたします。

- ①PMJバンヤメッタ ②タイ プラティープ財団
- ③一隅を照らす運動総本部 ④子どもソーシャルワークセンター 以上

ご協力いただきました各仏青様に心より感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。
(救援委員会)

※上記の募金額は令和7年2月5日現在です。

令和7年度 天台仏教青年連盟全国大会 京都結集

日 程：令和7年10月9日(木)～10日(金)
会 場：1日目 … ANAクラウンプラザホテル
2日目 … 青蓮院門跡

天台宗京都教区仏教青年会は令和7年10月に京都市にて2日間の日程で京都結集の開催を予定しております。

主な内容として1日目はホテル会場にて記念講演、2日目は青蓮院門跡にて法要を予定しております。

天台青年僧にとって有意義な結集が開催できるよう、会員一同準備に取り組んでおりますので、宜しくお願いいたします。

〈天台宗京都教区仏教青年会・京都結集実行委員会〉

法衣・仏具製造及び販売

株式会社
井筒法衣店
〒160-0008
東京都新宿区四谷
三栄町十四番地11
Tel. 03-3358-1500
Fax. 03-3359-8902



井筒法衣店

オンラインショップを
開設しました



ひとの思いをつなぐ担い手として

印刷を中心にコミュニケーションビジネスの
発展性と可能性を追求しつづけます。



福岡カラー印刷株式会社

福岡本社 〒960-2101 福岡市さくら3丁目2-7 Tel.024-594-2188
郡山営業所 〒963-0724 郡山市田村町上行合字北川田26-3 Tel.024-956-2113
ファミロード編集部(郡山営業所内) Tel.024-943-1168



有限会社 **むらかみ**

〒591-8022
大阪府堺市北区金岡町 3001-1-25
電話 (072) 258-0122
FAX (072) 255-4709

天台仏教青年連盟 協賛金協力者御芳名 (敬称略)



延暦寺執行 獅子王 圓明	一隅を照らす運動 総本部長 荒 樋 勝 善	社会部長 原 徳 明	教学部長 村 田 庸 田	財務部長 大 角 実 豊	法人部長 四 竈 亮 真	総務部長 坂 本 圭 司	宗務総長 細 野 舜 海	天台宗務庁
山陰教区 皆成院 清 水 成 眞	岡山教区 正満寺 村 上 行 英	近畿教区 天鷲寺 澤 田 圓 成	京都教区 護浄院 松 景 崇 誓	滋賀教区 眞迎寺 辻 井 芳 道	延暦寺一山 護心院 竹 林 幸 祥	宗 議 会 議 員 (寺籍簿順)		
南総教区 笠森寺 小 川 長 圓	北総教区 永命寺 玉 田 法 信	東京教区 圓融寺 阿 純 章	東京教区 寶泉寺 大 塚 亮 英	神奈川教区 圓滿寺 西 郊 良 貴	信越教区 光前寺 吉 澤 道 人	三岐教区 慈明院 小 池 祖 堂		
山形教区 中性院 清 原 良 田	陸奥教区 観音寺 鮎 貝 宗 城	福島教区 不動院 小 笠 原 仁 海	栃木教区 台元寺 井 上 純 道	栃木教区 實教院 鈴 木 常 元	茨城教区 如意輪寺 寺 門 俊 明	埼玉教区 福正寺 大 澤 貫 秀		
岡山教区 本性院 永 宗 幸 信	兵庫教区 福田寺 井 上 眞 円	京都教区 穴太寺 穴 穂 行 仁	滋賀教区 泉福寺 安 藏 玄 周	教区宗務所長 (寺籍簿順)	玄清法流 光明院 柴 山 眞 晃	北海道管区 天祐寺 山 口 礼 雄		
神奈川教区 影向寺 加 藤 浩 照	信越教区 長慶寺 吉 澤 敬 順	北陸教区 自性院 光 照 良 浩	東海教区 瀧山寺 山 田 亮 盛	三岐教区 常住寺 森 喜 良	九州西教区 安福寺 嘉 瀬 慶 文	山陰教区 座光寺 中 村 満 直		
福島教区 西藏寺 横 山 大 哲	栃木教区 台林寺 齋 藤 和 道	茨城教区 薬王院 中 村 純 亮	埼玉教区 護國寺 杜 多 堯 慶	南総教区 寶勝院 河 野 亮 宏	北総教区 大乘寺 弘 海 高 顯	東京教区 寶塔寺 林 觀 照		

信越教区 千手院 傳田公順	東海教区 明光院 酒井妙照	九州西教区 長谷寺 西川妙輝	九州東教区 観音院 阿部昌宏	宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方 東京教区 津梁院 長澤徳栄	玄清(統管) 成就院 東京教区 西光寺 梶谷隆幸	陸奥教区 満福寺 千葉亮賢
東京教区 観音寺 本多賢眞	東京教区 眞光寺 眞泉光宏	東京教区 浄名院 佐藤良和	東京教区 眞如院 大多喜義慶	東京教区 津梁院 長澤徳栄	東京教区 西光寺 京戸慈仁	神奈川教区 遍照寺 坂本圭司
群馬教区 東榮寺 本多仙紹	埼玉教区 観音寺 石川典昭	南総教区 笠森寺 小川長圓	北総教区 證明寺 郡司弘道	北総教区 泉養寺 菊池暁昇	東京教区 徳藏寺 加藤邦宣	東京教区 寿福寺 加藤良昌
皆様の絶大なる御支援に 心より御礼申し上げます				茨城教区 57 藥王寺 信越教区 45 光明寺	茨城教区 妙嚴寺 服部光秀	群馬教区 安養院 市川祐純
担 担 当 当 役 役 員 員 長 高 原 岡 田 田 眞 直 人 寛 文 隆 英 彰 諒 芳 順 心				副 委 委 員 員 長 長 龍 田 中 晃 生 信 明		天 台 仏 教 青 年 連 盟 代 表 杉 谷 義 恭 副 代 表 甲 斐 健 盛 副 代 表 小 林 伯 裕 事 務 局 長 八 木 隆 純 事 務 局 次 長・庶 務 長 清 水 信 秀 事 務 局 次 長・会 計 柳 澤 最 一 事 務 局 次 長・法 務 長 秦 行 巨 事 務 局 次 長・渉 外 長 山 崎 諒 順 会 計 監 査 高 橋 文 英 会 計 監 査 山 崎 圓 宗

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。令和7年1月31日現在、ご協賛いただきました方を掲載しております。

広告を掲載しませんか？

『天台佛青連』は年に1回天台宗の全寺院に向けて発行される青年会の機関誌です。御寺院様の行事のPRや告知、求人募集などにお役立てください。



天台仏教青年連盟



令和六年度常任委員会委員長報告

結集研修委員会

委員長 関口 慈圓(信越)



一担当委員一
本山・京都・東海
信越・群馬・茨城

今年度の結集研修委員会では、かねてから準備を進めていた「天台仏教青年連盟全国大会 茨城結集」を実施いたしました。同教区内 五浦観光ホテル 別館大観荘にて「作る 知る あるがままに」伝承と創造から真理へ」を主題とし、日本全国から多くのご参加をいただきました。一堂に会した会員一同の法楽を皮切りに流通経済大学中原篤徳教授の講演、懇親会や移動研修と充実した内容を円成させることができました。現在は来年度に控える京都結集の準備をいたしております。

また三度のオンライン研修が実施され、それぞれ多くのご参加を頂き、会員各々の研鑽の機会となりました。なお講師並びに講題は以下の通りです。

- 延暦寺一山 華王院住職 長谷川裕峰師「延暦寺における法華大会について」
- 陸奥教区 黒石寺住職 藤波大吾師「祭りと信仰」

こどもソーシャルワークセンター代表 幸重忠孝氏「生きづらさを抱えるこども若者の声に耳を傾ける」

救援委員会

委員長 中里 正敬(北総)



一担当委員一
近畿・兵庫・九州西
北総・南総・栃木・福島

救援委員会では地球救援募金活動、各種支援団体への支援実施、災害発生時の情報収集、被災地への救援物資や支援金義援金の送付、各教区仏青への募金協力依頼等を基本とし活動しております。

本年度は能登半島地震への救援活動が委員会の中心となりました。救援募金の呼びかけ、北陸教区災害対策本部への支援金の拠出、現地ボランティア活動の呼びかけ、ボランティア保険加入の助成案内、九月に発生した能登半島大雨災害への義援金の拠出などを行い、その他の活動としては七月に発生した秋田・山形の大震災、台湾東部沖地震、ベトナム台風十一号災害、パキスタン洪水災害への義援金の拠出など国内外の災害への救援活動を実施いたしました。同時に各種支援団体の選定も行ってまいります。

被災地支援活動にご尽力いただきました各教区仏青の皆様へ感謝を申し上げますとともに、今後も続くであろう被災地支援にご協力いただければと思います。

情報通信委員会

委員長 清原 要田(山形)



一担当委員一
山陰・三岐・東京
陸奥・山形・北海道

情報通信委員会では連盟公式ホームページやSNSの運営を行い、連盟活動を会員の皆様に発信しています。情報通信委員会では兼ねてより古い形式となった連盟公式ホームページの更新を行うという懸念材料がありました。本年度になり連盟役員や委員の皆様、またご理解をいただいた代議員の皆様のご助力もあり、連盟公式ホームページの更新作業が完了しました。

情報通信委員会は来年度の連盟委員会改定により布教広報委員会と合併し、新しい体制で運営される事が決定しております。その前にひとつの懸念であった連盟公式ホームページの更新を終わらせて引き続き進んでいただけるのは本当にありがたい事です。個人的にも長く情報通信委員会に携わらせていただきましたが、これからも次の新しい委員会の皆さんが連盟の活動を積極的に発信していただければと思います。

布教広報委員会

委員長 龍 信明(岡山)



一担当委員一
滋賀・岡山・四国・九州東
北陸・神奈川・埼玉

布教広報委員会では、今年度も本誌「天台佛青連」の編集と発行を中心に活動を行いました。

誌面内容では、昨年の能登半島地震における被災地のボランティア活動や、北陸仏青様の支援活動、また十二月に執り行なわれました慰霊供養並びに復興祈願法要を中心とした青年会の活動を詳細に報告できるように心懸けました。

また、新たな試みとして、各教区の仏青活動や交流の一例を紹介する誌面を設けています。アフターコロナを経て、どの業界でも今までできていた活動の継続が難しくなっている中、何ができるのか。具体的な活動内容などを共有しながら、今後の各仏青活動の一助になれば幸いです。

本誌の製作に辺り、関係者の皆様には原稿執筆など種々ご協力を賜り誠に有難うございました。次年度には、新たな情報発信体制の広報委員会に活動が引き継がれる予定ですが、今後とも変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

この度は会報誌「天台佛青連」の発刊おめでとうございます。たくさんの方々の手によって今回も立派な会報誌を作り上げる事が出来ました。この場を借りて心より感謝申し上げます。

さて、私は愛媛県松山市在住なのですが、県内西条市には西日本最高峰となる石鎚山があります。西日本の修験道や、諸宗教においてとても重要な霊峰とされており、毎年たくさんのお参り客、参拝客で賑わっております。

そんな石鎚山に登ってみようという話があったのが昨年の話になります。山陰仏青の会長から「山陰仏青と四国仏青と合同で何かやってみませんか？」という話をいただいたのですが、それが石鎚山登山となりました。

そうなるかと四国仏青でお接待をしなければならぬなど思ったのですが、私は愛媛県に住んでいるが実は石鎚山に登ったことがありません。それならば一度登ってみようかと思ひ、日にちを決めます。まずは一回目、急な仕事が入り断念。二回目、またしても急な仕事が入り断念。結局リハール無し、当日決行となりましたが、これもまた仕事で断念。

散々と山に嫌われてしまった一年でしたが、今年こそ登ってみようという思いだけで未だに使っていない道具を眺めながら思っております。

石鎚山登山にご参加いただいた皆様本当にお疲れ様でした。

布教広報委員 能澤芳心(四国)